

きたもとの未来地図

三宮ゆきお



発行者 三宮ゆきお後援会 北本市西高尾1-259
Tel.Fax 048-592-1376
Mail sangu.y5111@gmail.com

災害に強い街ランキングで総合3位

の総合とはどういう事か

(suumo新築マンション埼玉県版(2020.10.27)(株)リクルート)引用
一都三県(東京・埼玉・千葉・神奈川)の町村を除く全184の自治体

「災害に強い街ランキング」で、**北本市が184の自治体中、総合第3位**となりました。リクルートでは、これまで住みたい街、人気の街ランキング等を掲載していますが、これほど、**エビデンスに基づいたランキングの公表は初めてではないでしょうか。**

わたしは、この記事を分析、監修された伊藤和也教授(東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科)を直接訪ね、お話を伺ってまいりました。市民の皆様の安心・安全のため、まちの強み・弱みを分析し、まちづくりに活かしたいと考えたからです。その概要をお知らせいたします。



| 順位 | 市区名 | GNS | 順位 | 市区名 | GNS | 順位 | 市区名 | GNS |
|----|--------|-------|----|--------------|-------|----|------------|-------|
| 1 | 所沢市 | 4.27% | 31 | 埼玉県 鴻巣市 | 3.46% | 61 | 東京都 東久留米市 | 6.09% |
| 2 | 和光市 | 4.93% | 32 | 神奈川県 川崎市宮前区 | 5.92% | 62 | 東京都 稲城市 | 6.09% |
| 3 | 北本市 | 4.94% | 33 | 埼玉県 朝霞市 | 5.52% | 63 | 東京都 三鷹市 | 6.12% |
| 4 | 鎌ヶ谷市 | 5.00% | 34 | 埼玉県 さいたま市浦和区 | 6.61% | 64 | 神奈川県 横浜市中区 | 6.13% |
| 5 | 羽村市 | 5.01% | 35 | 東京都 文京区 | 6.61% | 65 | 東京都 八王子市 | 6.18% |
| 6 | 青梅市 | 5.01% | 36 | 千葉県 四街道市 | 5.62% | 66 | 埼玉県 本庄市 | 6.24% |
| 7 | 国分寺市 | 5.21% | 37 | 神奈川県 相模原市南区 | 6.64% | 67 | 埼玉県 日高市 | 6.26% |
| 8 | 川崎市麻生区 | 5.33% | 38 | 神奈川県 相模原市緑区 | 6.64% | 68 | 東京都 武蔵村山市 | 6.28% |
| 9 | 渋谷区 | 5.41% | 39 | 東京都 伊勢原市 | 5.67% | 69 | 東京都 町田市 | 6.32% |
| 10 | 鶴ヶ島市 | 5.42% | 40 | 埼玉県 さいたま市見沼区 | 5.69% | 70 | 埼玉県 人間市 | 6.32% |

自然災害に対するリスク指標
GNSの算出方法
 ばくりょう ぜいじゃくせい
 「曝露量」と「脆弱性」の
 2要素を基にスコア化



※GNS (Gross National Safety for natural disasters)
 曝露量: 災害にさらされるリスク。数値が低いと安心。
 脆弱性: 災害におけるハード面とソフト面の対策の度合。
 数値が低いと対策が高い。

GNS指標上位3市(所沢市、和光市、北本市)比較

曝露量 については土地柄の影響が大きく、自治体の施策では改善が難しい。地震、洪水は所沢市の曝露が少なく、土砂災害は北本市が少ないが大きな差は出ていない。上位3市では、曝露量は所沢、北本、和光の順である。

脆弱性のハード面 においては北本市の住宅の耐震化率や道路密度指数は優れている。しかしながら、ライフライン等が低評価となっている。浄水施設の耐震化率等は、一部事務組合の所管であり即自的な対応は難しい。

脆弱性のソフト面 においては、スーパー・コンビニ店舗数や物資備蓄等は本市の優れている点である。医療サービス及び財政指数においては、東京に近い2市に劣っている。この部分については、許容の範囲と考える。

比較項目
 (地震、津波、高潮、土砂災害、火山、洪水)

比較項目
 (住宅の耐震化率、公共施設の耐震化率、木造住宅の割合、住宅の腐朽・破損の有無、基幹道路の耐震化率、浄水施設の耐震化率、配水池耐震化率、40年超過管率、道路密度指数、橋梁修繕率、同報系防災行政無線通信設備整備率、移動系防災行政無線通信設備整備状況、Jアラート受信機整備率、自動起動アラート受信整備率)

比較項目
 (食料物資、飲料水備蓄量、毛布備蓄枚数、スーパー店舗数、コンビニ店舗数、医師数、病床数、財政指数、ジニ係数、老年人口指数、被保護実人員、地震保険加入率、土砂災害危険区域指定率、ハザードマップ公開数、自主防災組織カバー世帯数、条例・自治)

3市とも、数値的には大きな開きがなく、都心に近い関東の市区の中で**極めて災害に強い街**であることがわかります。また、地盤の強さや内陸県という立地の特性から、自然災害のダメージを比較的受けにくいことも特徴です。

一方、基幹道路の耐震化率などは、県やその街の財政力や規模により差が生まれる傾向にあります。大事なことは、無いものねだりではなく、そのまちの地理や歴史の特徴を知り、個性を磨き上げてブランド化することであると考えます。

北本市で言えば、**ほぼ全域に大宮台地が広がっていて、同台地の中でも最高地点(高尾付近の海拔は32.9メートル)**に位置していることが大きなブランドです。

それは道路行政でも、江戸初期に五街道の一つ「中山道」がいち早く敷設されたまちであったことも、この安定した地盤との関係で説明することができます。明治16年に敷設された今の高崎線も同様です。普段は、当たり前だと思っていることが、実は他のまちにはない「ローカルブランド」なのです。

わたしが就任後、モンベル(山キャンプ用品専門店)、平和アルミ製作所(ショッピングモール)、学校法人北里研究所(基幹病院)等と連携協定を結んだ意味は、実は「いざ災害時」という時の脆弱性を強化するためです。

また、今全国的に注目されているシティプロモーションの取組(&greenマーケット)は、「老年人口指数」に関する若者の移住・定住の促進に繋げる取組でもあるのです。

なお、「災害発生頻度」×「影響を受ける人口割合」をヒントにすると、北本市は、184市区に比べて人口が少ない方であり、このことがGNS値を下げていて捉えることができます。つまり、人口が増えれば、それだけGNS値が上昇するからです。

市の今の人口は、65,751人(令和5.1.1現在)です。GNS値に限ってみれば、年齢構成の問題を別にして「**災害に強い街**」の**適正人口**と言えるのかも知れません。

北本市はここ数年、人口動態が変化し、17年ぶりに若い世帯が移り住む社会増に転じています。しかし、自然減により、緩やかですが未だ人口減少は続いています。

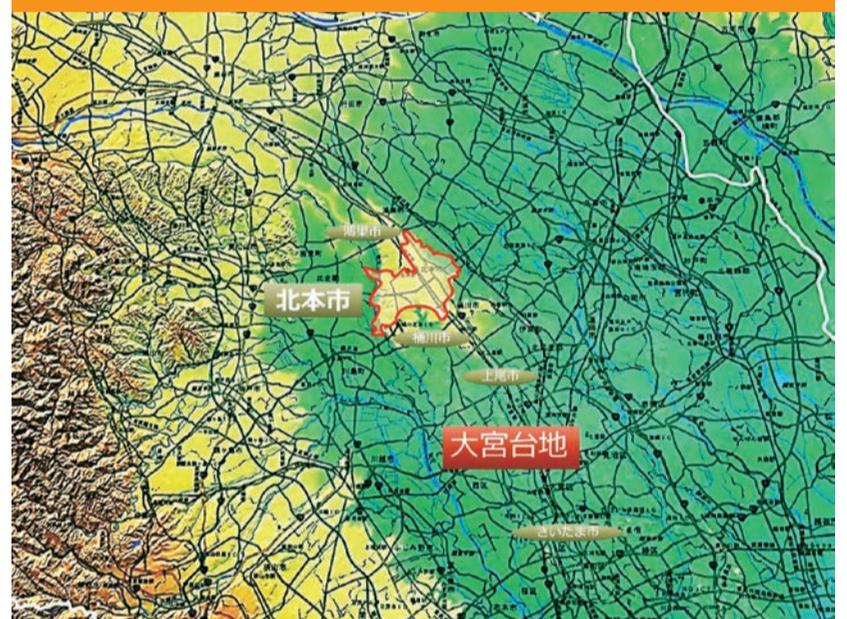
機械化、自動化が進み、生産力が維持される中での人口減少は、人間一人一人の生存と自己実現をより可能にしていく社会です。人口が減少したとしても、その後一定水準で安定させていくこと、自然と共生して生き延びていくことこそが、最も合理的なまちの未来の姿ではないでしょうか。

補足ながら、**3市に共通していることは遺跡が大変多いこと**です。古から**安全・安心であったまちの証**です。街の防災力と遺跡とをクロスしたら面白い結果となるかも知れません。

今回は、街の防災力と平均地価とクロスしてみました。184市区の上位10市区の中で、**最も地価の低いのは災害に強い街ランキング総合3位の北本市**でした。住むならコスパ抜群の「トカイナカ」&「縄文文化都市」北本でしょう!

海拔32.9m

大宮大地の最高地点に位置するまち



まちの防災力と平均地価

※ 川崎市麻生区

| 都道府県 | 市町村 | 首都圏184市区災害に強い | | 公示地価 市町村ランキング 2022年 | | | |
|------|------|---------------|-------|---------------------|--------------------------|--------------|-----------|
| | | 総合ランク | GNS | 全国順位 | 公示地価平均 | 坪単価平均 | 変動率 |
| 埼玉県 | 所沢市 | 1位 | 4.27% | 74位 | 20万7466円/m ² | 68万5840円/坪 | 1.32% 上昇 |
| 埼玉県 | 和光市 | 2位 | 4.93% | 44位 | 30万4384円/m ² | 100万6230円/坪 | 1.94% 上昇 |
| 埼玉県 | 北本市 | 3位 | 4.94% | 203位 | 9万3513円/m ² | 30万9134円/坪 | 0.43% 上昇 |
| 千葉県 | 鎌ヶ谷市 | 4位 | 5.00% | 192位 | 9万9535円/m ² | 32万9041円/坪 | 0.31% 上昇 |
| 東京都 | 羽村市 | 5位 | 5.01% | 126位 | 13万6918円/m ² | 45万2622円/坪 | 0.37% 上昇 |
| 東京都 | 青梅市 | 6位 | 5.01% | 179位 | 10万3828円/m ² | 34万3234円/坪 | -0.12% 下落 |
| 東京都 | 国分寺市 | 7位 | 5.21% | 34位 | 38万5130円/m ² | 127万3158円/坪 | 1.11% 上昇 |
| 神奈川県 | 川崎市 | 8位※ | 5.33% | 33位 | 39万0476円/m ² | 129万0830円/坪 | 0.82% 上昇 |
| 東京都 | 渋谷区 | 9位 | 5.41% | 3位 | 454万7254円/m ² | 1503万2245円/坪 | 0.83% 上昇 |
| 埼玉県 | 鶴ヶ島市 | 10位 | 5.42% | 175位 | 10万5961円/m ² | 35万0286円/坪 | 0.16% 上昇 |

【出典1】首都圏184地区防災力

suumo新築マンション埼玉県版(2020.10.27) (株)リクルート

自然災害に対するリスク指標「GNS」を用いて首都圏184市区を災害リスクが低い順にランキング化

【出典2】公示地価 市町村ランキング2022年

土地データ (https://tochidai.info/) サイト運営会社 (株) Land Price Japan

国土交通省提供のオープンデータを出典元として地価の平均値、変動率、ランキング、グラフを独自に計算